

2000年（平成12年）5月12日（金曜日）

## 下総玩具に遊ぶ 松本節太郎展に1800人



カラフルな下総玩具を楽しんだ

土玩具が好きなので散歩がてら来ました。色彩や表情が素朴で、いっぱいあるので見応えがあります」と話した。

同実行委員会によると、松本さんは今後、小物は作らず素焼き作品のような創作物を作っていくという。文化課の担当者は「作品が散逸してしまうのは惜しいので、そうならないよう努力したい」と話した。

高齢のため、第一線からの引退を決めた下総玩具作者、松本節太郎さん(九七)の作品展「下総玩具の世界」

(柏市教育委員会、アートウォーク実行委員会共催)

が一日から五日まで、市民ギャラリーで開かれた。カラフルな下総首人形や体に模様を描いたダルマのほか、素焼きの作品など約千

点が展示された。市内外から千八百人を超える人が訪れ、ほのぼのとした下総玩具の世界を楽しんだ。

柏在住の矢嶋キヨさん(七五)は「人形の顔がみんな違つので面白い」、松戸市の村田豊子さん(五八)は「郷